

eXact 2 の使い方ウェビナーシリーズ 第2回

— eXact 2 Suiteを使ったライブラリの使い方 —



ΔE-OKAMATSU
Application Specialist

ウェビナー中のお願ひ事項

1. 可能な限り、大容量かつ安定したインターネット環境よりご参加ください。
※回線不良で固まってしまった時は、再度お入り直してください。
2. ご質問は、「Q&A」欄のより随時送信してください。
講演の最後にご質問にお答えする時間を設けております。
※チャット欄は、ご利用いただけません。
※記名による送信をお願いします。（他の参加者の方にお名前は公開されません）
3. 本ウェビナーの撮影・録画・録音は、一切禁止とさせていただきます。



Okamatsu, Eijiの画面を表示しています オプションを表示

eXact 2 の使い方ウェビナーシリーズ 第1回
—濃度測定、L*a*b*測定、色差測定—

xrite PANTONE®

△F-OKAMATSU
Application Specialist

Okamatsu, Eiji

オーディオ設定 ^

Q&A チャット 手を挙げる 設定

退出

The image shows a Zoom meeting interface. On the left, a presentation slide with a red background contains text in Japanese: 'eXact 2 の使い方ウェビナーシリーズ 第1回' (eXact 2 Usage Webinar Series Episode 1), '—濃度測定、L*a*b*測定、色差測定—' (—Concentration measurement, L*a*b* measurement, color difference measurement—), the 'xrite PANTONE' logo, and '△F-OKAMATSU Application Specialist'. On the right, a camera view shows a desk with a colorimeter (Munsell Color Services Lab M30) displaying 'M 1.23', a color calibration chart, and a black carrying case. A blue vertical bar and a white double-headed arrow are overlaid on the screen, pointing from the camera view to the slide. The Zoom interface includes a top browser bar with the URL 'https://us06web.zoom.us/jc/88466701915/...', a top right toolbar with search, share, and other icons, and a bottom toolbar with 'オーディオ設定', 'Q&A', 'チャット', '手を挙げる', '設定', and a red '退出' button.

セミナーの内容

1. ライブラリとは
2. ライブラリの使い方
 - I. eXact 2 Suiteを使ったライブラリの作成
 - ① 測定して基準色登録
 - ② データ入力での基準色登録
 - ③ 他のライブラリからインポート
 - ④ 許容値の設定
 - II. ライブラリのeXact 2 機器への転送と使用方法
 - III. ライブラリの取り込みと書き出し
3. ライブラリを使ったColorCertとのコラボ



COLOR

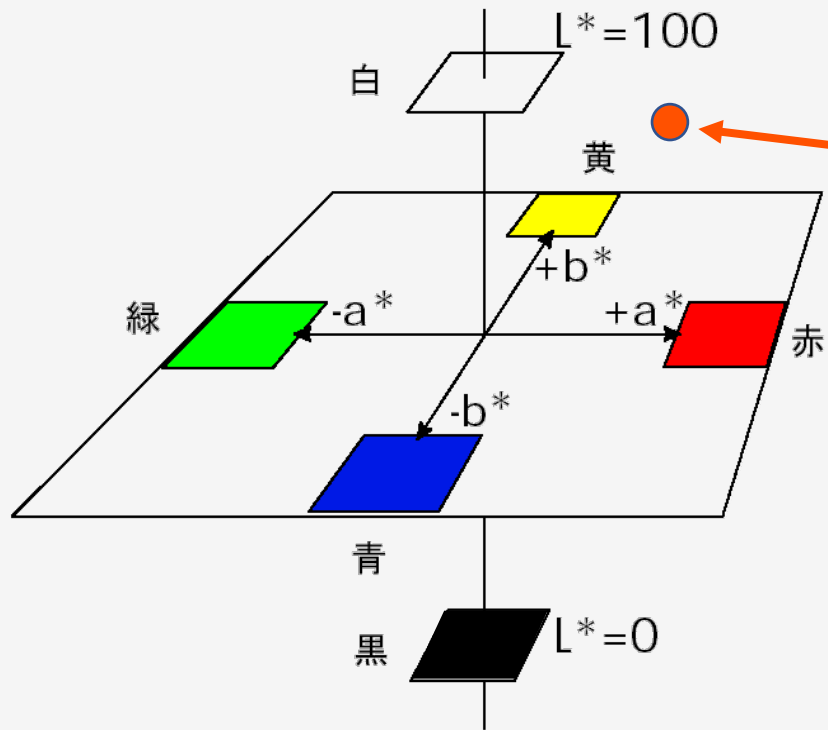
COMMUNICATION

非効率な色のコミュニケーション

- もっと濃度を乗せて
- 細部を出して
- もっと鮮やかに
- もっとシャープに
- 深みを出して
- コントラストを付けて
- 濃くして
- ニュートラルのバランスをとって
- ポップな感じに
- チョーキーな感じに
- 粒状感出して
- もっとクリアな色味に
- これに合わせて
- もっと温かみが欲しい
- 青を2%抜いて
- もっと金赤を出して
- 色が強すぎる
- 茶が出てない
- 透明に反射が強すぎ
- 少し汚して
- 墨っぽい
- Mがかぶってる
- トーンを抑えて
- ちょっと眠い
- すこし濁ってる
- 細部はそのままで、白をもっと白く
- 肌をもっとフレッシュに
- 全体に明るくして
- 黒締めて
- ハイライトをキープして
- シャドーが潰れないように
- インパクト出して

色の数値化

$L^*a^*b^*$: 人の目を物差しにした数値化



$L^*=65.45$
 $a^*=57.04$
 $b^*=70.00$

目標色を数値で
管理しよう！



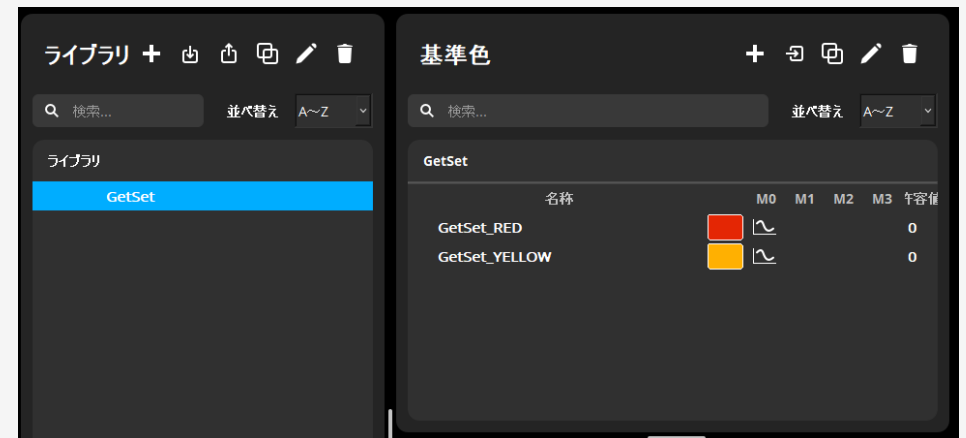
Library

ライブラリとは

目標色の（基準値 $\langle L^*a^*b^* \rangle$ + 許容値 $\langle \Delta E \rangle$ ）をグループ化したもの

<ライブラリの利用方法>

- ジョブで使用される目標色グループ
- 基準色プール
- クライアントや生産サイト間のコミュニケーション
- アプリケーションとの色データのやり取り



1つのライブラリには2,000色以上の基準色を保持可能

リピートジョブでの色シフト



プルーフ ターゲット



初回オーダーの印刷
(プルーフと比較して
 $\Delta E2.0$ の偏差)



2回目オーダーの印刷
(初回オーダーと比較して
 $\Delta E2.0$ の偏差)



3回目オーダーの印刷
(2回目オーダーと比較して
 $\Delta E2.0$ の偏差)

リピートを繰り返すうちに大きな色差

eXact 2 でのライブラリの使い方：ステップ

1. ライブラリをeXact 2 Suiteで作成
2. 作成したライブラリをeXact 2 装置本体へ転送
3. eXact 2 でライブラリを選択
4. サンプルを測定



exact

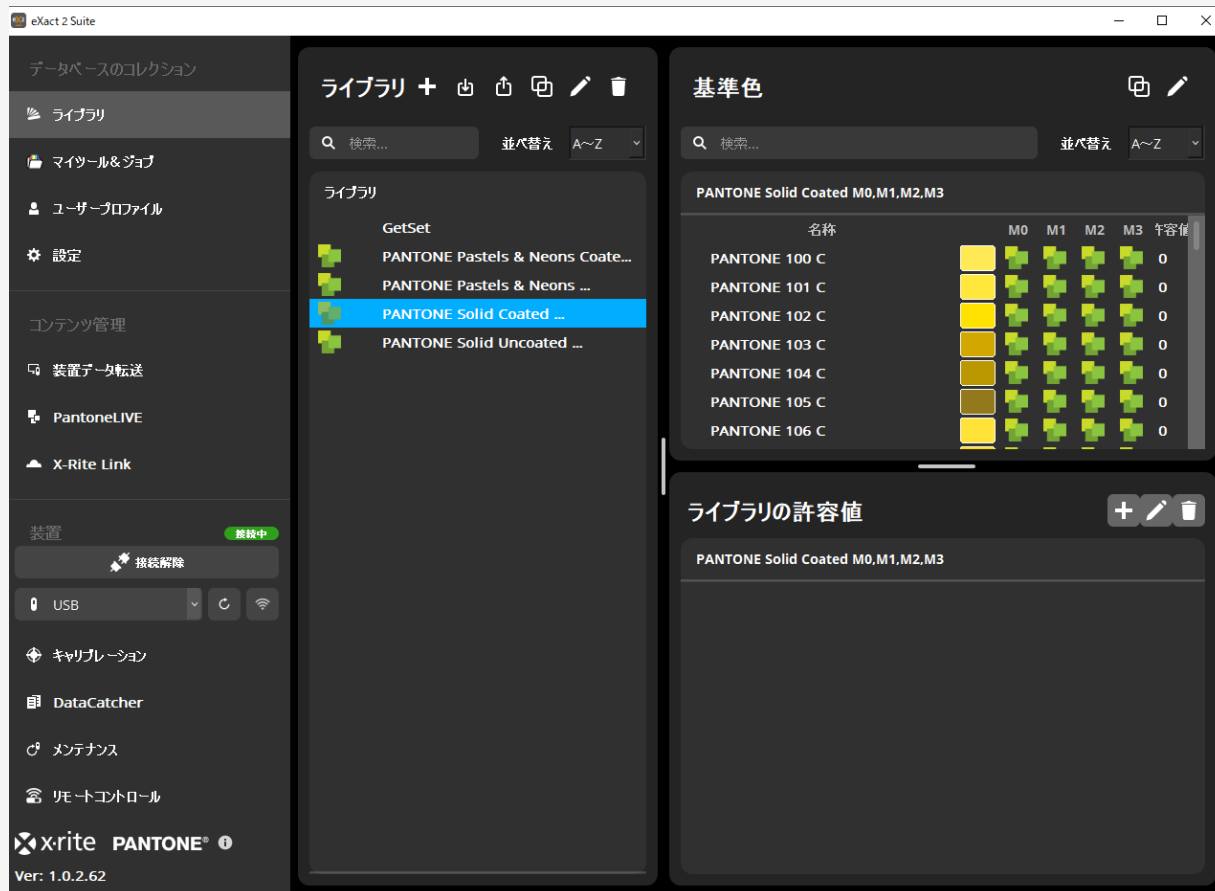
z

swift

eXact 2 Suite



eXact 2 の標準ソフトウェア



Suiteで利用可能な機能

- ライブラリ機能
- ジョブ機能
- 設定
- マイツール：設定+ライブラリ
- ユーザープロファイル
- 装置とのデータ転送
- PantoneLIVE管理
- X-Rite Linkを使ったデータ配布
- DataCatcher機能
- Wi-Fi設定
- メンテナンス&ファームウェアアップデート
- リートコントロール

<https://www.xrite.com/ja-jp/service-support/product-support/portable-spectrophotometers/exact>

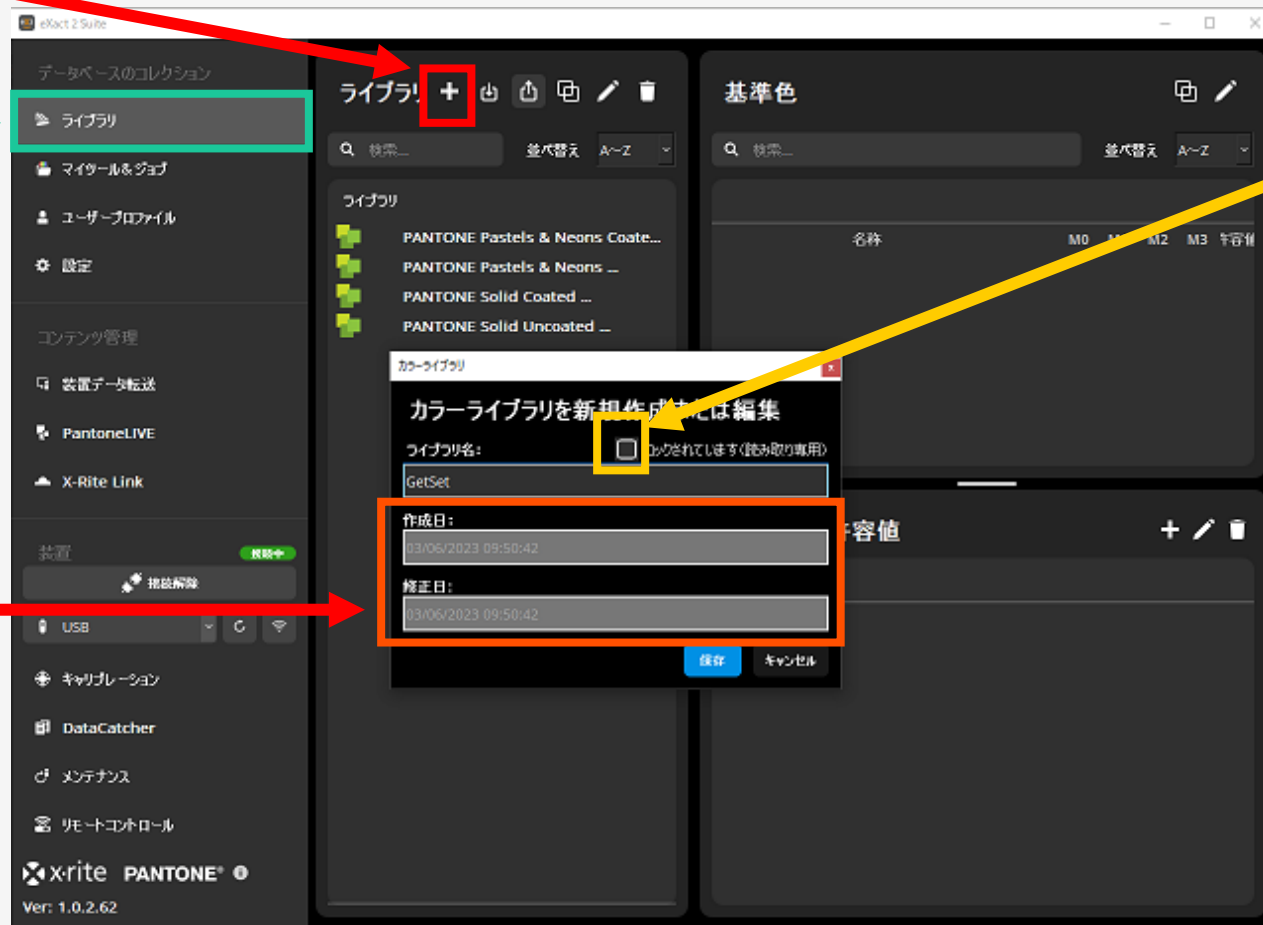
ライブラリの新規作成

新規作成アイコン

ライブラリ機能

作成日／修正日

- ライブラリのリビジョン管理に利用



ロック機能

- ライブラリ名変更：不可
- 基準色の追加：不可
- 基準色の編集：可
- 許容値の追加：可
- 許容値の編集：可
- ライブラリの削除：可

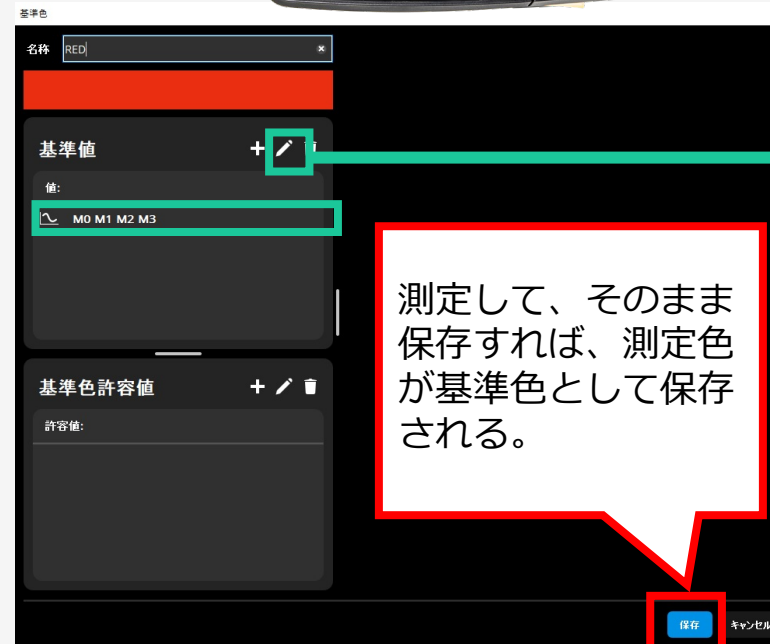
ライブラリの作成：基準色登録：測定による

測定による基準色作成

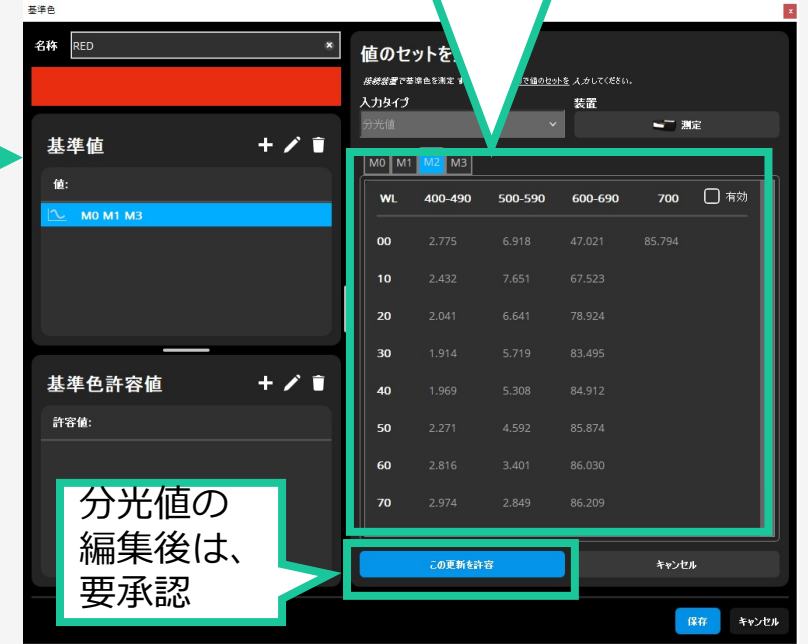
新規基準色作成アイコン



値を選択して、をクリックすると、各Mモードでの分光値を編集。Mモードごとの無効化も可能



測定して、そのまま保存すれば、測定色が基準色として保存される。



分光値の編集後は、要承認

ライブラリの作成：基準色登録：手動データ入力による

手動データ入力して作成

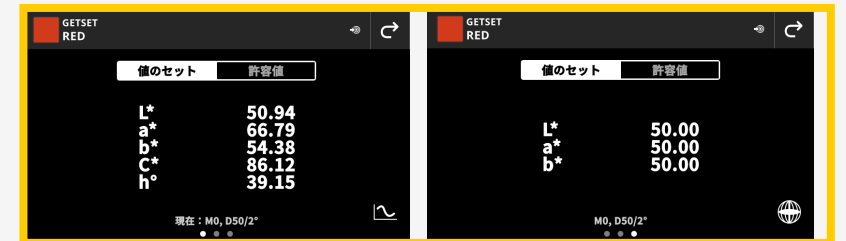
新規基準色作成アイコン



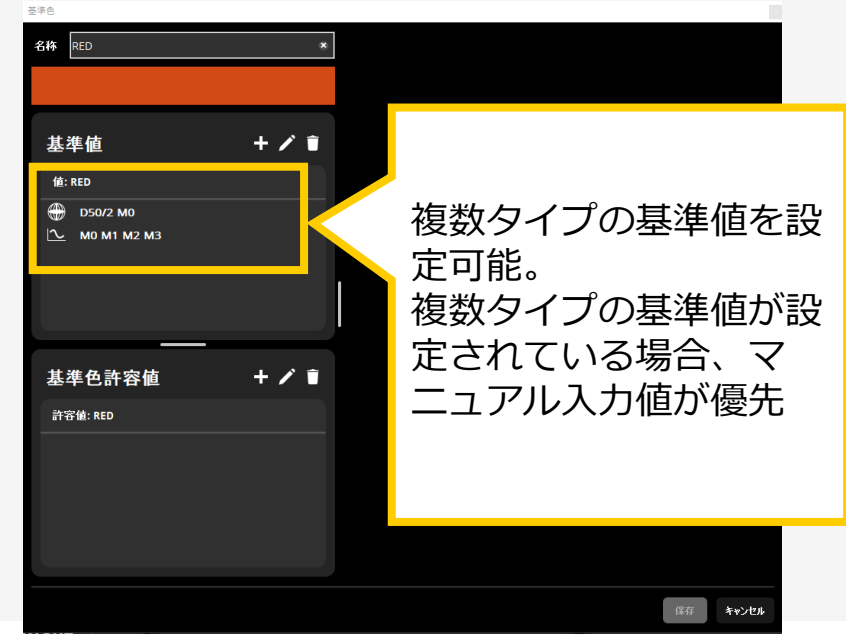
使用するMモードを有効にして、基準色のLabをマニュアル入力



Lab各値の入力後は、要承認



複数タイプの基準値を設定可能。
複数タイプの基準値が設定されている場合、マニュアル入力値が優先

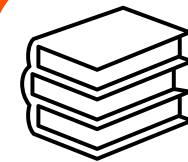
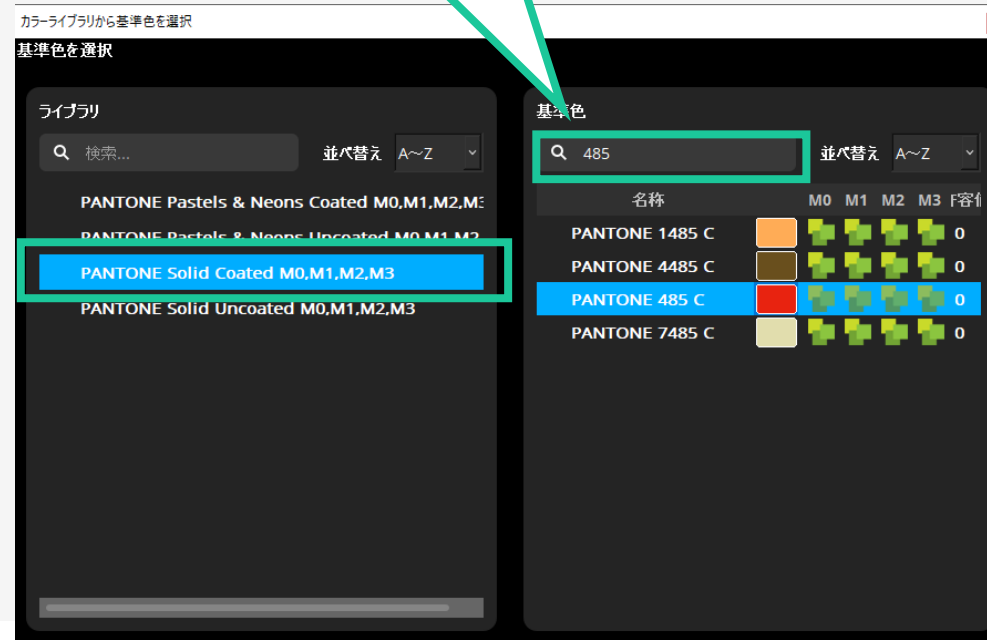
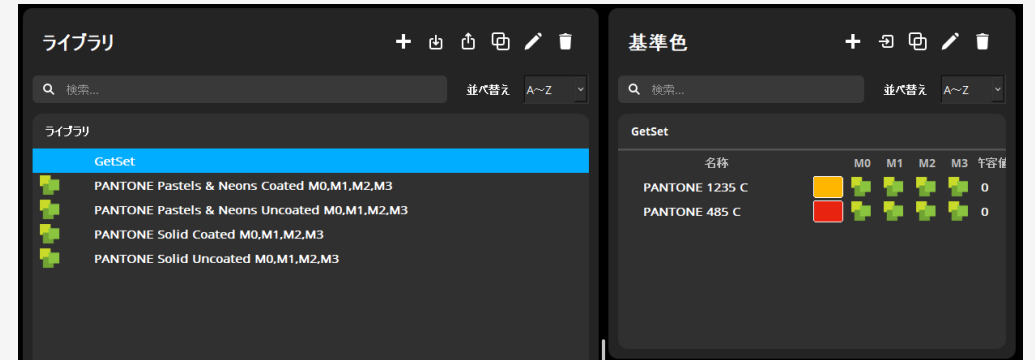


ライブラリの作成：基準色登録：他のライブラリから

他のライブラリから取り込んで作成

他のライブラリから取り込み
アイコン

基準色名を検索して
リスト表示



TIPS

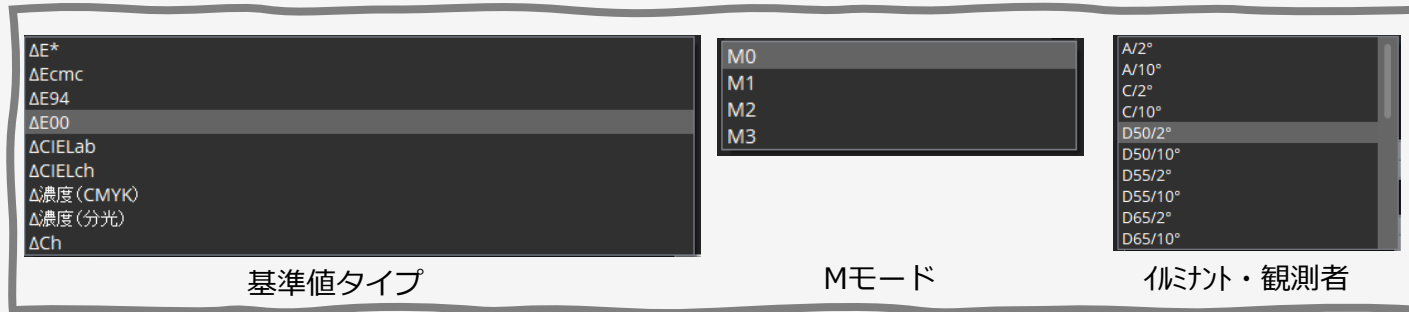
過去に使用した基準色を集めた基準色プールのライブラリを作成しておいて、ジョブ用ライブラリ作成時に基準色プールからインポート

ライブラリの作成：許容値設定

許容値の設定

2段の階層構造

- 基準値内許容値
- ライブラリ内許容値

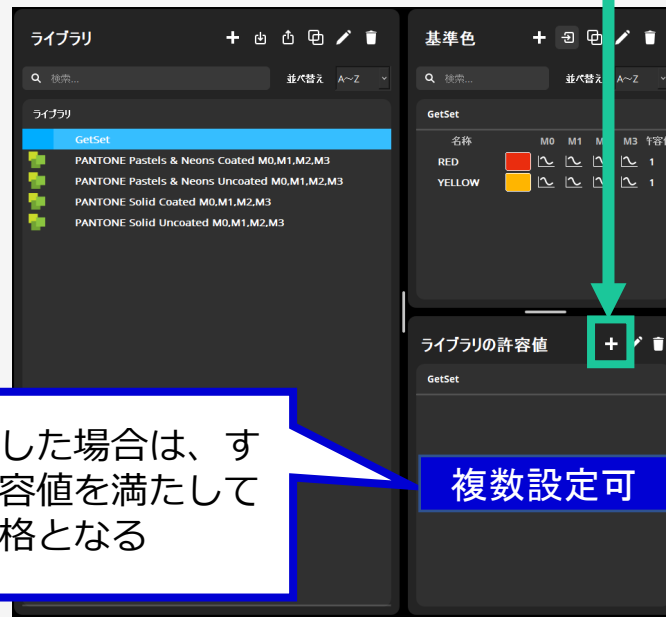


① 基準値内許容値作成アイコン (優先)



② ライブラリ内許容値作成アイコン (基準値に許容値がない場合に利用)

チェックを入れると、設定の値を使用

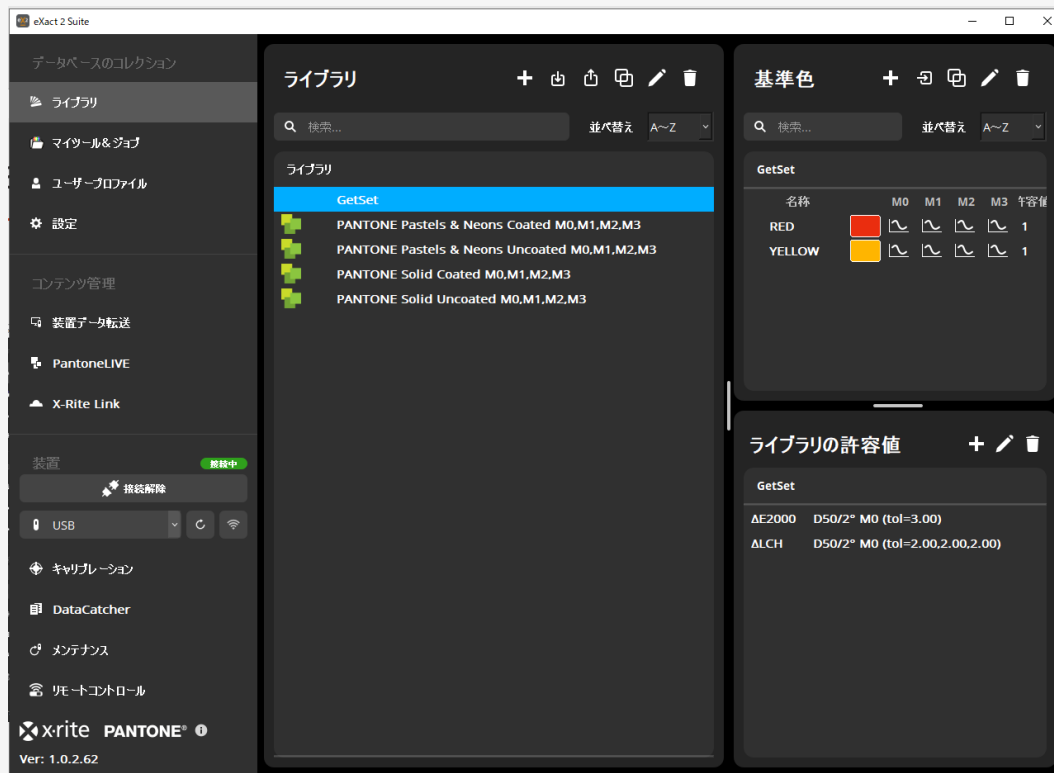


複数設定した場合は、すべての許容値を満たして初めて合格となる

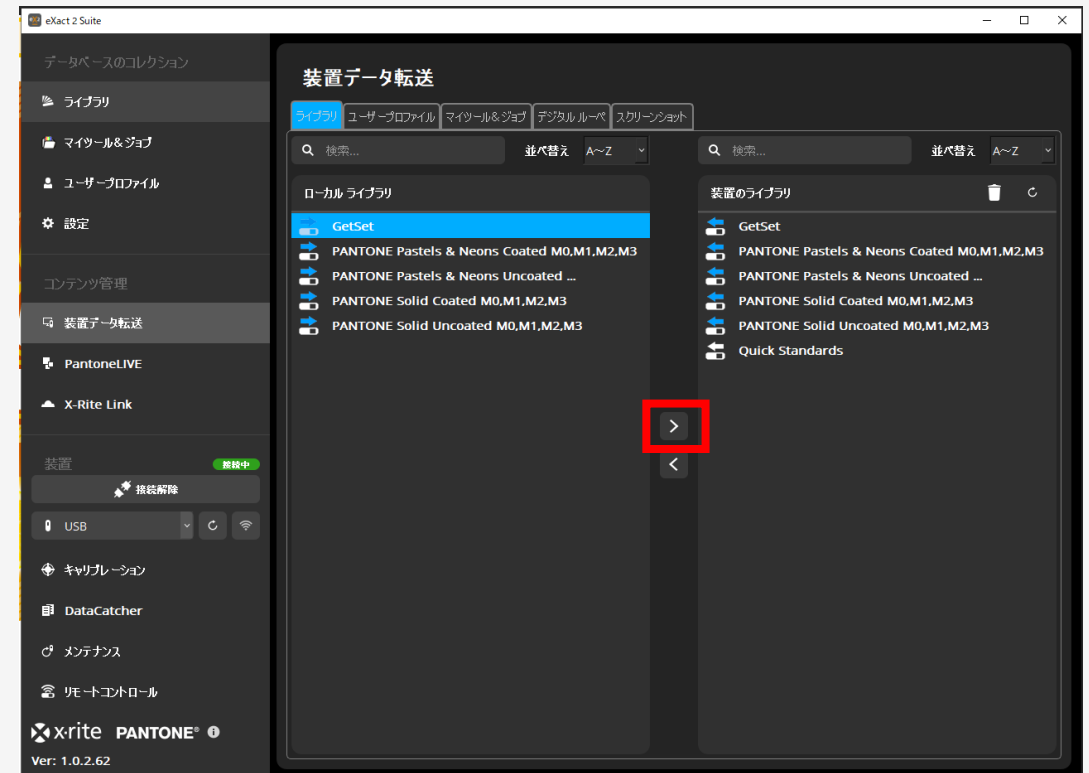


eXact 2 でのライブラリの使い方

1. ライブラリを作成して



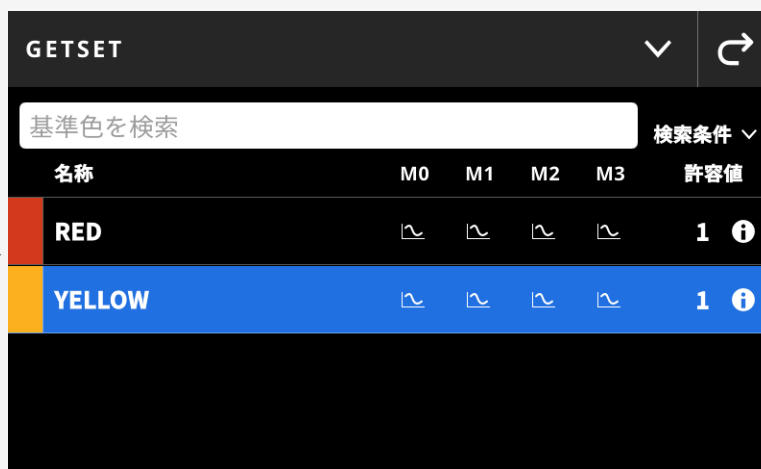
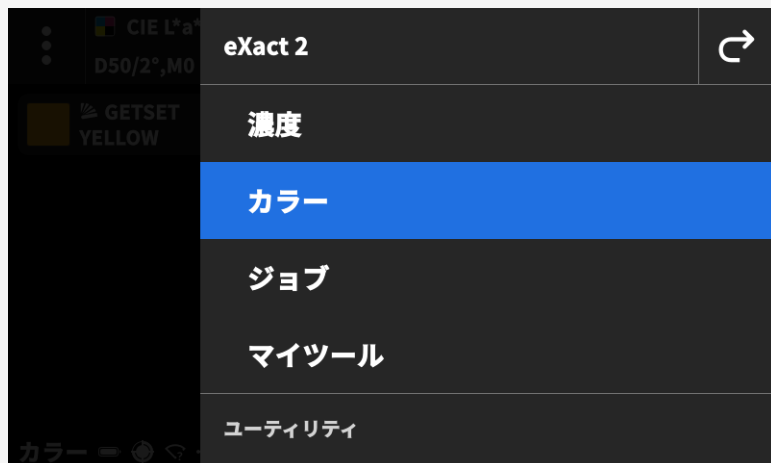
2. eXact 2 へ転送



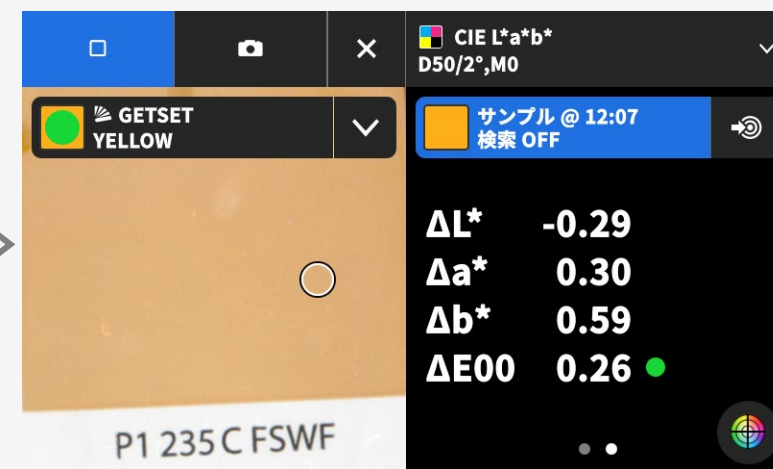
Library on exact

eXact 2 でのライブラリの使い方

3. eXact 2 で転送したライブラリを選択



4. サンプルを測定



ライブラリの使い方：基準色の自動検索

設定アイコン



The screenshot shows the main interface of a color measurement application. At the top left, a red arrow points to a vertical ellipsis menu icon. Below it, the interface displays color space information: CIE L*a*b* and D50/2°,M0. A sample is identified as 'GETSET YELLOW' with a timestamp 'サンプル @ 12:07' and '検索 OFF'. The color data is presented in two columns: L* (79.85), a* (18.74), b* (77.39) on the left; and ΔL* (-0.29), Δa* (0.30), Δb* (0.59), ΔE00 (0.26) on the right. A small green dot is next to the ΔE00 value. At the bottom left, there are icons for 'カラー' and other functions.

L*	79.85	ΔL*	-0.29
a*	18.74	Δa*	0.30
b*	77.39	Δb*	0.59
		ΔE00	0.26

基準色の検索：ONに設定すると、ライブラリ内の最近似基準色を自動で検索



The screenshot shows the 'カラー設定' (Color Settings) menu. A green arrow points to the '基準色の検索' (Search for reference colors) option, which is highlighted with a green box and has a blue toggle switch turned on. Other options in the menu include '機能設定' (Function settings), 'サンプルの保存' (Save sample), 'クイックライブラリを消去' (Erase quick library), and '濃度白色基準' (Concentration white reference) with a sub-option 'マイナス用紙' (Minus paper).

ライブラリの書き出し&取り込み



CxFファイルの書き出しと取り込み

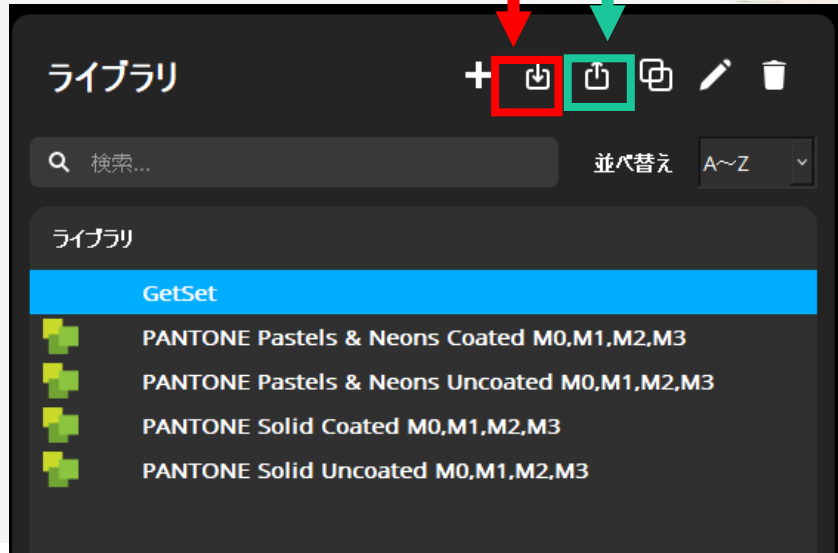
ライブラリはCxFファイルとして
書き出し/取り込み可能

CxFファイルはメモ帳で可読

```
GetSetCore - 名前: CxFファイル
?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?
<cc:CxFormat xmlns:cc="http://colorexchangeformat.com/CxFormat-core" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">
  <cc:FileInformation>
    <cc:Creator>Write eXact</cc:Creator>
    <cc:Description>GetSet</cc:Description>
    <cc:ClassName>FileType Values=Color Library</cc:ClassName>
    <cc:ClassName>GUID Values=6f7e1ab7-66df-4476a7d8-41ea5e80521f</cc:ClassName>
    <cc:ClassName>IsReadOnly Values=False</cc:ClassName>
  </cc:FileInformation>
  <cc:Resources>
    <cc:ObjectCollection>
      <cc:Object ObjectTypes=Standard Name=YELLOW Id=795169 GUID=c2928492-2471-4d3e-9ca6-09ba906a39d1>
        <cc:CreationDate>2023-06-03T01:21:45</cc:CreationDate>
        <cc:ColorValues>
          <cc:ReflectanceSpectrum Name=Reflectance MeasureDate=2023-06-03T01:21:45 StartWL=400 ColorS<
            <cc:ReflectanceSpectrum Name=Reflectance MeasureDate=2023-06-03T01:21:45 StartWL=400 ColorS<
              <cc:ReflectanceSpectrum Name=Reflectance MeasureDate=2023-06-03T01:21:45 StartWL=400 ColorS<
                <cc:ReflectanceSpectrum Name=Reflectance MeasureDate=2023-06-03T01:21:45 StartWL=400 ColorS<
                  <cc:ColorValues>
                    </cc:ColorValues>
                  </cc:Object>
                <cc:Object ObjectTypes=Standard Name=RED Id=795170 GUID=8ded3440-709c-46dd-adbf-b89101109b35>
                  <cc:CreationDate>2023-06-03T01:21:29</cc:CreationDate>
                  <cc:ColorValues>
                    <cc:ReflectanceSpectrum Name=Reflectance MeasureDate=2023-06-03T01:21:29 StartWL=400 ColorS<
                      <cc:ReflectanceSpectrum Name=Reflectance MeasureDate=2023-06-03T01:21:29 StartWL=400 ColorS<
                        <cc:ReflectanceSpectrum Name=Reflectance MeasureDate=2023-06-03T01:21:29 StartWL=400 ColorS<
                          <cc:ReflectanceSpectrum Name=Reflectance MeasureDate=2023-06-03T01:21:29 StartWL=400 ColorS<
                            <cc:ColorValues>
                              </cc:ColorValues>
                            </cc:Object>
                          <cc:ObjectCollection>
                            <cc:ColorSpecificationCollection Id=CSM00502>
                              <cc:TristimulusSpec>
                                <cc:Luminant>D50</cc:Luminant>
                                <cc:Observer>2_Degree</cc:Observer>
                                <cc:Method>2002_Tables</cc:Method>
                              </cc:TristimulusSpec>
                              <cc:MeasurementSpec>
                                <cc:MeasurementType>Spec_Reflectance</cc:MeasurementType>
                                <cc:GeometryChoice>
                                  </cc:GeometryChoice>
                                </cc:MeasurementSpec>
                              </cc:ObjectCollection>
                            </cc:ColorSpecificationCollection>
                          </cc:Object>
                        </cc:Object>
                      </cc:Object>
                    </cc:Object>
                  </cc:Object>
                </cc:Object>
              </cc:Object>
            </cc:Object>
          </cc:ColorValues>
        </cc:Object>
      </cc:ObjectCollection>
    </cc:Resources>
  </cc:CxFormat>
</pre>
```

CxFの取り込み

CxFの書き出し



TIPS

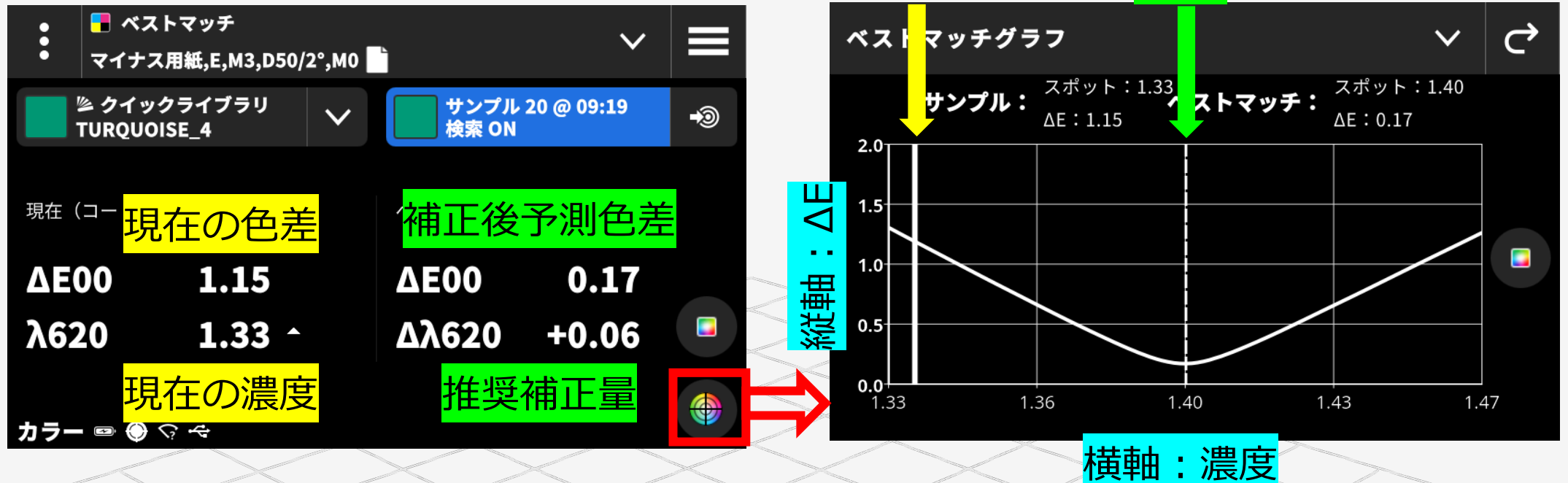
クライアントや工場間の色の
コミュニケーションを数値
ベースでカンタンに実現可能

Best Math

ベストマッチ

最小色差を濃度（色材濃度）でガイド

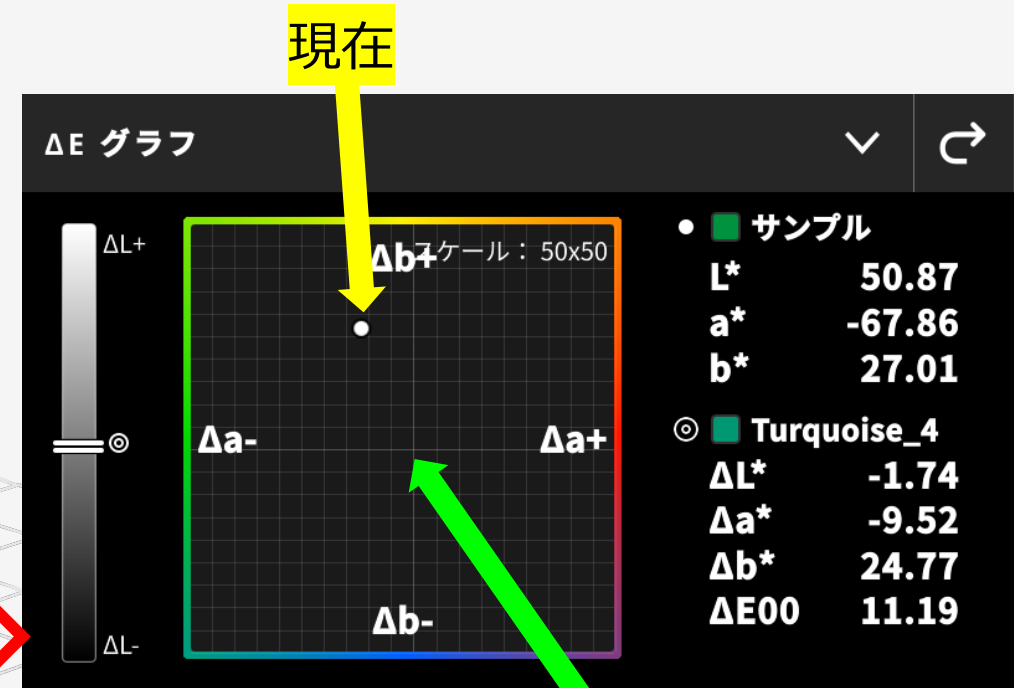
使用中のインクで目標色にもっとも近づくための補正を濃度でガイドします。



ベストマッチ

配合調整のためのガイド

濃度調整で目標に近づかない場合
インクの配合調整が必要



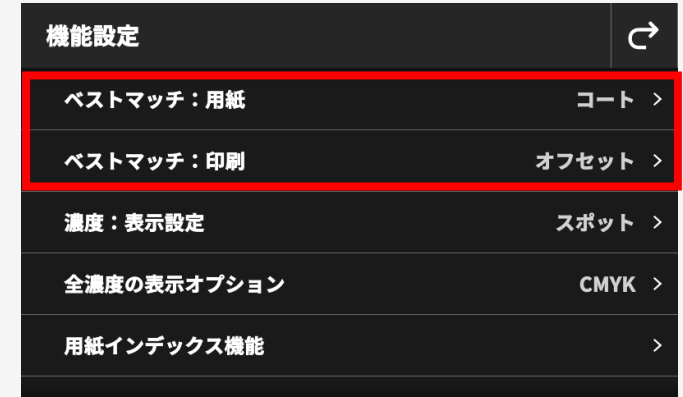
目標色：基準値

ベストマッチ：設定

設定アイコン



機能設定



印刷方式で「フレキシ、グラビア」を選択すると、Conc（色材濃度%）情報が追加

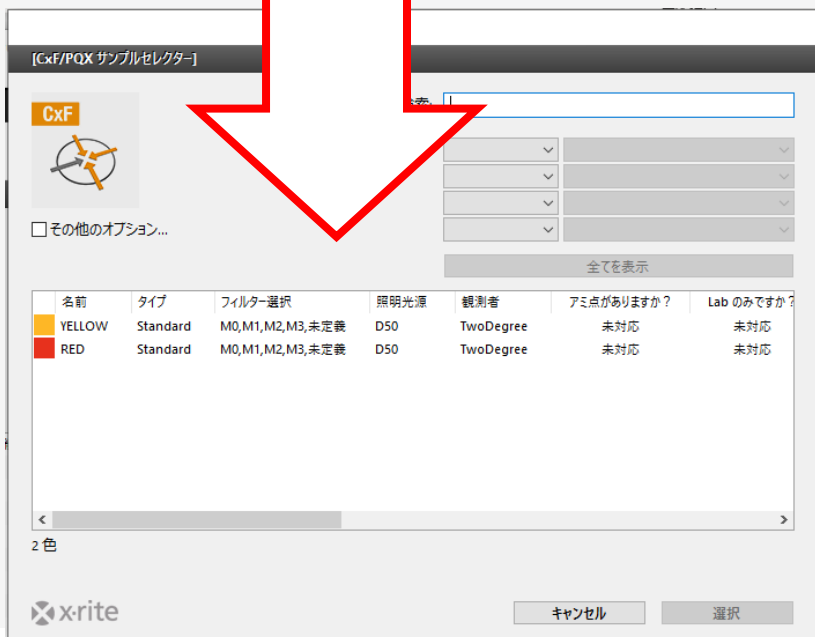


color

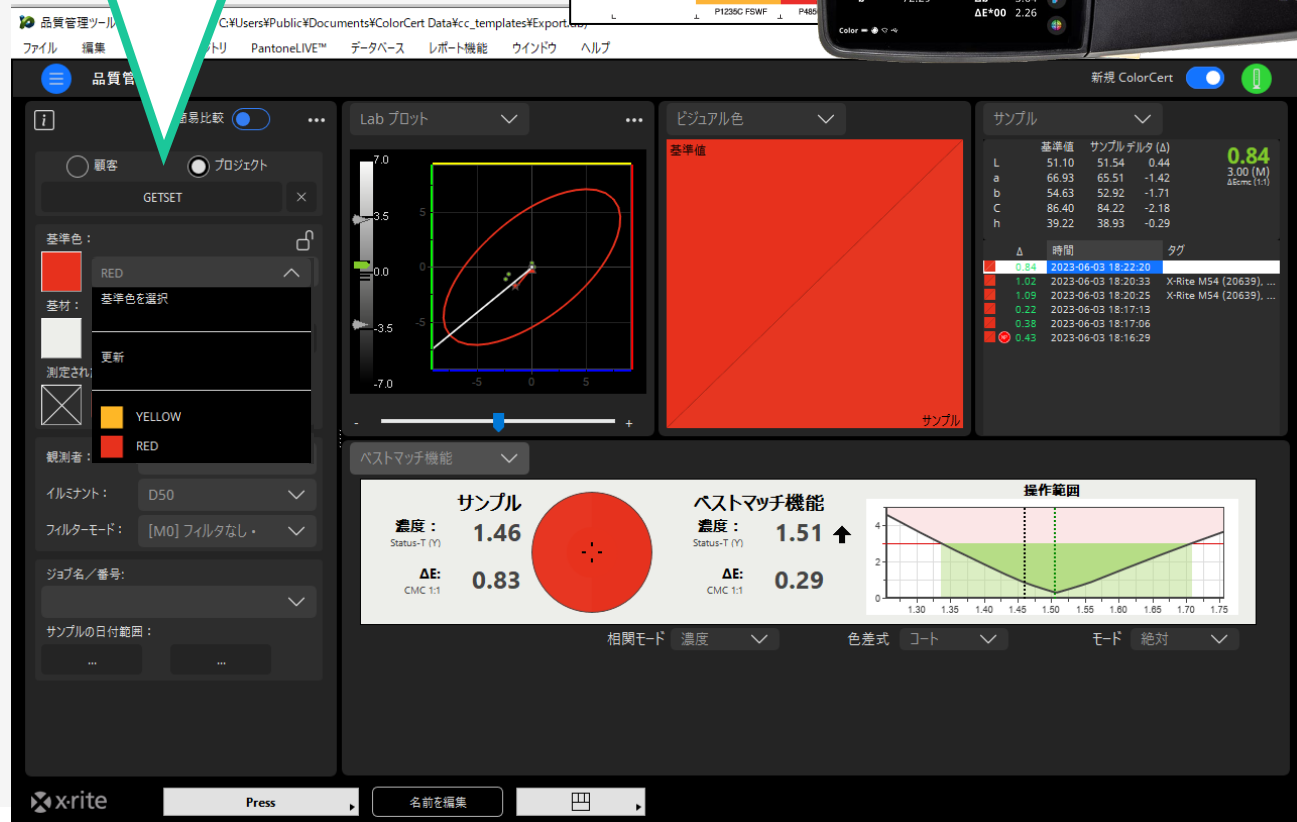
craft

Color Certとのコラボ

SuiteからのCxFファイルを取り込み



ColorCert QA
でサンプル測定、合否判定
しながらデータベース化、
レポート提出までをワーク
フロー化

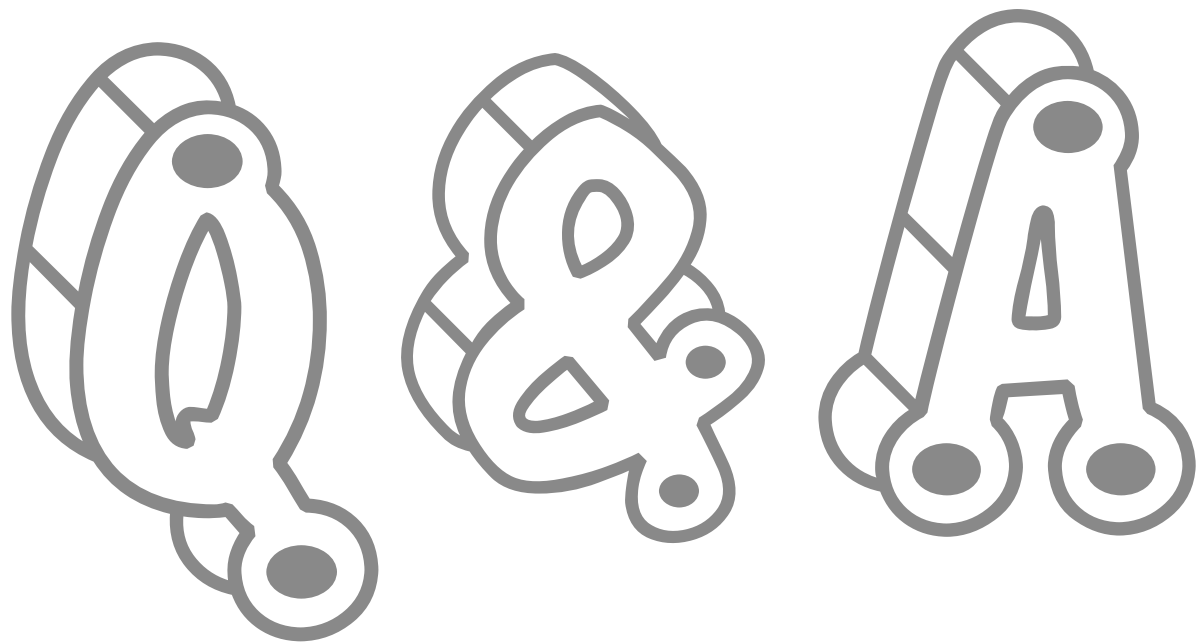


次回セミナーのご案内

6月22日 15:00-15:45

eXact 2 の使い方ウェビナーシリーズ 第3回

— Data Catcherを使ったデータの書き出し —



おわりに

◆◇アンケートご協力をお願い◆◇

本日のご感想をお聞かせください。

※アンケートは、Zoomより退出された後に表示されます

◆◇見学会・製品デモ随時受付中◆◇

ゆりかもめテレコムセンター駅下車徒歩1分

デモ機貸し出しも随時受付中です！！





エックスライト社

〒135-0064

東京都江東区青海2-5-10 テレコムセンタービル 西棟6F

電話 03-6374-8734 Eメール japan@xrite.com



免責事項： 本資料の情報はその有用性や正確性を保証するものではありません。
本情報を利用することによるいかなる損害も免責とさせていただきます。